

JGSDF News Release

<http://www.mod.go.jp/gsdf/news/press/>
(お知らせ)



30. 5. 28
陸幕広報室

報道関係者各位

AH-64D航空事故の調査状況について

平成30年2月5日に発生したAH-64D航空事故の調査状況について、下記のとおりお知らせします。

記

1 事故の経緯

平成30年2月5日(月)1643頃、陸上自衛隊目達原駐屯地所属の第3対戦車ヘリコプター隊AH-64D(2名搭乗)が、定期整備後の試験飛行中、目達原駐屯地の南西約6kmの地点に墜落(搭乗隊員2名殉職、住民・家屋等への被害あり)

2 事故調査の状況

(1) 組織

ア 陸上幕僚副長を長とする航空事故調査委員会を設置(平成30年2月5日付)

イ 幅広い観点から今回の事故原因等を検討・分析するため、航空事故調査委員会に特別に民間の航空工学等の有識者が参加

(2) これまでの事故調査要領

関係者からの聞き取り、MDR(メンテナンス・データ・レコーダー)の解析、部品の破断面調査等を実施

(3) 概定した事故の原因

関係者からの聞き取り、MDR（メンテナンス・データ・レコーダー）の解析結果及び破断面調査等から、今回の事故は、操縦士の操縦及び整備員の整備に起因するものではなく、当該機のメイン・ローター・ヘッドの主要構成部品であるストラップ・パック（メイン・ローター・ヘッドとメイン・ローター・ブレードを繋ぐ主要な部品）とメイン・ローター・ブレードを接続するアウトボード・ボルトが破断し、その後、その影響を受けたストラップ・パックが破断したことにより同パックと接続するブレードが機体から分離して、揚力を失い墜落したものと概定

(詳 細)

- 飛行中にN o 4メイン・ローター・ブレードとストラップ・パックを接続するアウトボード・ボルトが破断
- アウトボード・ボルトとアウトボード・ナットの間に約6ミリの間隔が発生
- ストラップ・パックを構成する各ラミナ（薄い鋼板）間に間隙ができ、各ラミナに不均等に力がかかったため、遠心力に耐えられなくなったラミナが破断
- N o 4メイン・ローター・ブレードがメイン・ローター・ヘッドから分離し、機体は揚力を失って自由落下となり墜落

(4) 今後の調査の焦点

アウトボード・ボルトの破断原因を解明するための調査を実施

(5) 再発防止策の取組み

- 陸上自衛隊が保有するAH-64D全機（12機）に関し、製造企業が品質を保証したアウトボード・ボルトへの交換等の対策を検討中
- 今後、事故原因を細部解明した後に、再発防止策を確立

3 事故調査報告書提出期限の延長

引き続き調査が必要なため、防衛大臣への航空事故調査報告書の提出期限（事故発生後4カ月以内基準）を延長

(問い合わせ先)

陸上幕僚監部広報室 井上、安達（担当）

（03-3268-3111 内線40082）